

Title	製品開発リードタイム短縮の前提条件-液晶用フィルム製造メーカーA社の事例研究-
Sub Title	
Author	足利, 正夫(Ashikaga, Masao) 坂爪, 裕
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2008
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2008年度経営学 第2285号 連絡が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002008-2285

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	生産政策研究会	学籍番号	80730035	氏名	足利 正夫
(論文題名) 製品開発リードタイム短縮の前提条件 —液晶用フィルム製造メーカーA社の事例研究—					
(内容の要旨) 本研究では、液晶用フィルム製造メーカーA社における製品開発の事例研究を通じて、製品開発のプロセス及びそのフローを可視化することで、製品開発リードタイム短縮を阻害している原因を調査し、原因に対する対策を検討する。その際、先行研究で示された自動車産業を主対象とした製品開発リードタイム短縮の定石が本研究の事例である化成品の製品開発事例にも適用可能であるかについて検討を行い、適用可能である場合にはどのような前提条件が必要になるか明らかにする。また、事例として取り上げる類似する2つの製品開発の遅延や滞留の原因を明確にし、共通したリードタイム短縮方法の適用だけで良いのか、異なる短縮方法が存在するのか否かについても明らかし、その場合の前提条件についても考察を行う。					